

# 令和7年度全国学力・学習状況調査結果について

令和7年4月14日及び17日に、本校第3学年を対象に実施した全国学力・学習状況調査の調査結果をまとめたものです。

## I 調査の趣旨

### 1. 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2. 調査事項

#### (1) 児童生徒に対する調査

##### ア 教科に関する調査

(ア) 国語、数学、理科の3教科について、調査を実施します。(理科のみ CBT 実施)

(イ) 出題範囲は、中学校第2学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの教科に関し、以下のとおりとします。

- 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

(ウ) 調査問題では、上記(イ)1と2を一体的に問うこととします。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入するものとします。

##### イ 質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施します。

#### (2) 学校に対する調査(学校質問紙)

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施します。

## II 調査の結果(帯広市立南町中学校)

本調査の結果については、学力の特定の一部であることを留意願います。

### 今年度の結果

国語	: 全国平均を下回りました。
数学	: 全国平均を下回りました。
理科	: 平均IRTスコアで、全国平均を下回りました。

※ 理科については、実施日により異なる問題が出題されたため、国・数とは異なる方法でスコアを計算しています。

### Ⅲ 調査結果の特徴

#### 1. 「教科に関する調査」の分析と対策

##### (1) 国 語

【結 果】 平均正答率 **全国平均を下回る**

[知識及び技能] ○言葉の特徴や使い方に関する事項 **全国平均を上回る**

[思考力、判断力、表現力等] ○話すこと・聞くこと **全国平均を下回る**

○書くこと **全国平均を下回る**

○読むこと **全国平均を下回る**

【評価の観点】 ○知識・技能 **全国平均を上回る**

○思考・判断・表現 **全国平均を下回る**

【成 果】

##### ○全国平均を上回った内容

- ・文脈に即して漢字を正しく使うことができるかどうかをみる。
- ・資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる
- ・相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる
- ・文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができるかどうかをみる
- ・読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる
- ・読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる

※生徒質問紙より「どちらかと言えばあてはまる」「あてはまる」と回答した割合が**全国平均を大きく上回った**項目

- ・国語の勉強は得意ですか

【課 題】

##### ○全国平均を下回った内容

- ・目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる
- ・書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考えることができるかどうかをみる
- ・自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫することができるかどうかをみる
- ・表現の効果、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる
- ・事象や行為を表す語彙について理解しているかどうかをみる

##### ○全国平均を大きく下回った内容

- ・自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる

※生徒質問紙より「どちらかと言えばあてはまらない」「あてはまらない」と回答した割合が**全国平均を大きく下回った**項目

- ・国語の勉強は好きですか
- ・国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれますか
- ・国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてください

【対 策】

① 朝読書の継続、充実（読解力向上の取組）

② 授業改善

- ・思考を深め分析するために、意見文を書き、お互いに添削し合う。根拠を明確にし、意見を述べる活動（討論形式）の学習を取り入れる。
- ・様々な文章を読み、意見とその根拠として挙げていることを的確に読み取り整理する学習活動を行う。
- ・資料や機器から得られた事実を根拠として活用し、自分の主張とつなげる学習活動を行う。

## (2) 数 学

【結 果】 平均正答率 **全国平均を下回る**

【学習指導要領の領域】	○数と式	全国平均を上回る
	○図形	全国平均を上回る
	○関数	全国平均を下回る
	○データの活用	全国平均を下回る
	○知識・技能	全国平均を下回る
【評価の観点】	○思考・判断・表現	全国平均を下回る

【成 果】

### ○全国平均を大きく上回った内容

- ・素数の意味を理解しているかどうかをみる
- ・多角形の外角の意味を理解しているかどうかをみる

### ○全国平均を上回った内容

- ・事柄が常に成り立つとは限らないことを説明する場面において、反例をあげることができるかどうかをみる
- ・目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる
- ・証明を振り返り、証明された事柄を基にして、新たに分かる辺や角についての関係を見いだすことができるかどうかをみる

※生徒質問紙より「どちらかと言えばあてはまる」「あてはまる」と回答した割合が**全国平均を大きく上回った**項目

- ・数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていますか

【課 題】

### ○全国平均を下回った内容

- ・数量を文字を用いた式で表すことができるかどうかをみる
- ・一次関数  $y = ax + b$  について、変化の割合を基に、 $x$  の増加量に対する  $y$  の増加量を求めることができるかどうかをみる
- ・式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる
- ・不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる
- ・事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる
- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる
- ・統合的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善することができるかどうかをみる
- ・ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる

### ○全国平均を大きく下回った内容

- ・相対度数の意味を理解しているかどうかをみる

※生徒質問紙より「どちらかと言えばあてはまらない」「あてはまらない」と回答した割合が**全国平均を大きく下回った**項目

- ・数学の勉強は得意ですか
- ・数学の授業の内容はよく分かりますか
- ・数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか
- ・文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかれていることを理解することができますか

【対 策】

- ① 習熟度別少人数学習の工夫・充実（補充的な学習の強化、個別最適な学習の実施）
- ② 朝読書の継続、充実（読解力向上の取組）
- ③ 授業改善
  - ・関数領域の指導では、数量関係を見出し、式で表せることができることや、1次関数の式の中の定数の役割や意味を考えさせる学習活動を行う。
  - ・確率の単元において、図や表、グラフなどのツールを、条件を整理するために活用できるよう指導する。
  - ・問題解決までの道筋を根拠とその必要性に基づいて説明させる場面をつくる。
  - ・多様な見方や考え方をもち、様々な角度からアプローチできるよう提示する問題を工夫する。
  - ・生徒一人一人が自分に合った目標に基づいて課題を設定し、解決方法についても自分で選択できる複線型授業を学習活動に取り入れる。
  - ・単元毎に定着を確認するための時間を確保する。

### (3) 理科

【結果】	平均 IRT スコア	全国平均を下回る	
	IRT バンド集計値	5の割合	・・・ 全国を下回る
		4の割合	・・・ 全国を上回る
		3の割合	・・・ 全国を上回る
		2の割合	・・・ 全国を下回る
		1の割合	・・・ 全国を下回る

※統計 IRT とは、項目反応理論 (Item Response Theory) の略で、テストの各問題 (項目) への受験者の反応 (正答・誤答) を分析し、受験者の能力と問題の特性 (難易度や識別度) を分離して評価する統計学的手法です。1 人 1 台端末を活用した CBT で、実施日により異なる問題が出題されたため、国・数とは異なる方法でスコアを計算しています。

#### 【成果】

##### ○全国平均を大きく上回った内容

- 塩素の元素記号を問うことで、元素を記号で表すことに関する知識及び技能が身に付いているかどうかをみる

##### ○全国平均を上回った内容

- 電熱線で水を温める学習場面において、回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能が身に付いているかどうかをみる
- 露頭のどの位置から水が染み出るかを観察する場面において、小学校で学習した知識を基に、地層に関する知識及び技能を関連付けて、地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさに着目して分析して解釈できるかどうかをみる
- 科学的な探究を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現できるかどうかをみる
- 【考察】をより確かなものにするために、音に関する知識及び技能を活用して、変える条件に着目した実験を計画し、予想される実験の結果を適切に説明できるかどうかをみる

#### 【課題】

##### ○全国平均を下回った内容

- 身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定できるかどうかをみる
- 水の中の生物を観察する場面において、呼吸を行う生物について問うことで、生命を維持する働きに関する知識が概念として身に付いているかどうかをみる
- 気圧について科学的に探究する場面において、状態変化や圧力に関する知識及び技能を基に、予想が反映された振り返りについて問うことで、探究の過程の見通しについて分析して解釈できるかどうかをみる
- 気圧に関する身近な事象を問うことで、気圧の知識が概念として身に付いているかどうかをみる

##### ※生徒質問紙より 「どちらかと言えばあてはまらない」「あてはまらない」と回答した割合が全国平均を大きく下回った項目

- 理科の勉強は得意ですか
- 理科の勉強は好きですか
- 理科の授業の内容はよくわかりますか
- 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- 理科の授業で学習した知識を普段の生活の中で活用できていますか
- 理科の授業で学習した考え方を普段の生活の中で活用できていますか
- 自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしていますか

#### 【対策】

- 朝読書の継続、充実 (読解力向上の取組)
- 授業改善
  - 日常生活と結び付けられるように発問を工夫する。
  - 実験や観察の際に、考察時間を十分に確保する。
  - 学習内容への関心を高めるために、単元や授業の際の導入の場면을工夫する。

#### 全教科を通しての対策

- 朝読書の継続、充実 (読解力向上の取組)
- 授業改善
  - 主体的に取り組む学習内容の工夫
  - 個別最適な学習 (複線型授業を取り入れた学習など)
  - ICT 機器の効果的な活用

## 2. 「質問紙調査」の分析

### 生徒質問紙調査

#### 【よい傾向】

- 自分には、よいところがあると思う
- 読書は好きである
- これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがあった
- 1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、ほぼ毎日使用していた
- 自分はPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思う
- 自分はPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思う
- 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができる
- 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる
- 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思う

- ⇒
- 自己肯定感や自己有用感の高まりが見て取れます。また、毎日実施している「朝読書」により読書に対する意識も高いと考えられます。
  - 自然の中での活動への意識の高さは、小学校での「校外学習」の取組が影響を与えていると考えられます。
  - ICT活用能力については、授業の中で1台端末を活用する機会が高いことが影響していると考えます。
  - 自らの学習の調整については、学校全体で取り組んでいる「振り返り」の成果が現れてきていると考えられます。

#### 【課題】

- 毎日、同じくらいの時刻に寝ている
- 学校に行くのは楽しいと思う
- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う
- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上、勉強をする  
（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
- 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり1時間以上、勉強をする  
（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
- 1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた
- 学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている

- ⇒
- 生活リズムの乱れは、心身の不調の原因にもなり得るため、学校での啓発のみならず、家庭でも協力してもらいながら、改善を図っていくことが大切であると考えます。
  - 2学期以降は「自分以外の人と協力すること、共に生きていくことの大切さ」を重点に取り組んでいきます。
  - 主体的に取り組む家庭学習の習慣定着のために、各教科で学習方法や内容のアドバイスを発信していきます。